

**【結果・考察】**

- 教職員が日々、授業改善に努めることで、児童の授業内容の理解も深まっている。保護者にも参観授業だけでなく、今後も学年だよりやホームページ等を通じて、日々の授業の様子を伝えていく。
- 児童は、漢字や計算練習に真面目に取り組んでいることが分かる。保護者や教職員から指示されるのではなく、自分で考えて取り組めるよう個別指導していく。
- 読書をしている児童の割合は約7割で、保護者においては約4割とかなり低い結果となった。今後も学校司書や地域の方と連携し、図書を紹介や朝の読み聞かせの取組を継続していく。落ち着いて読書できる環境を整えていく。

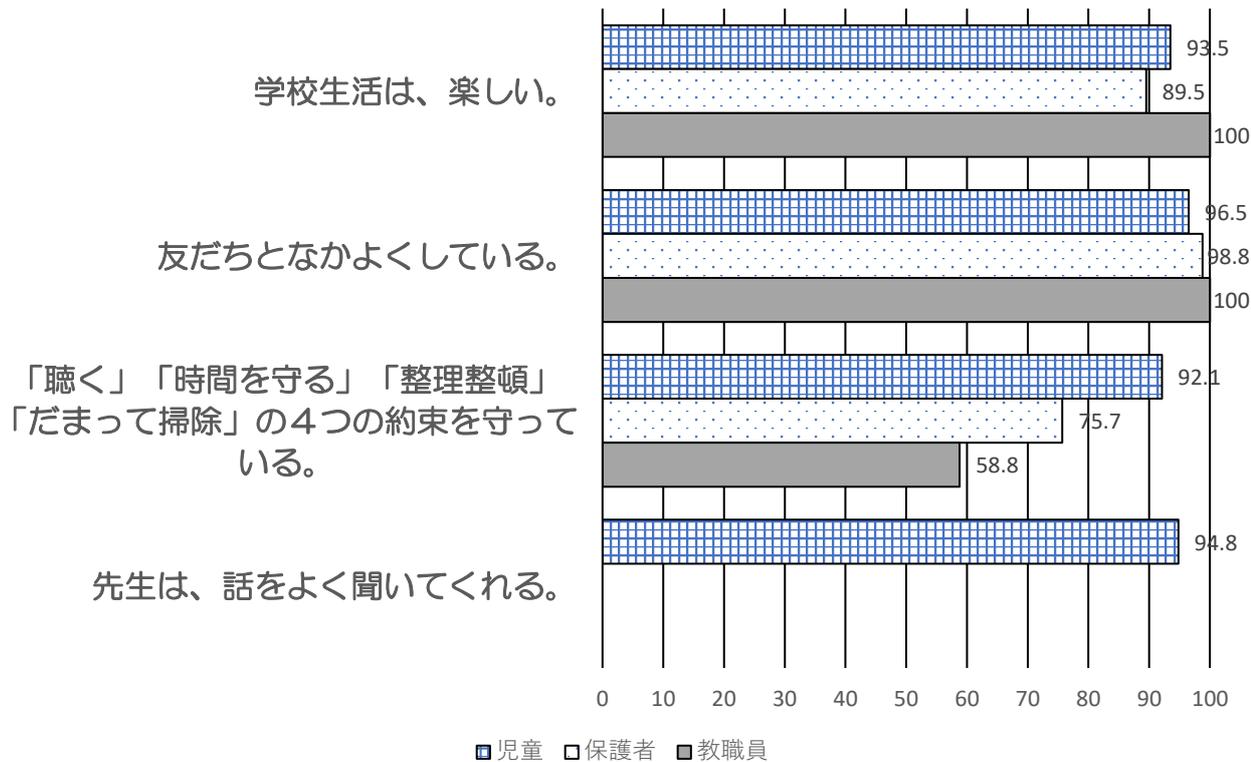
A…順調 **B…おおむね順調** C…あまり順調ではない D…順調ではない

**【「子どもの学習」についての学校運営協議会の方のご意見】**

- ・授業内容がよくわかる、正しく字を書く、正確に計算できる、毎日宿題をきちんとしている、等が8割、9割ですばらしいと思う。
- ・授業内容がよくわかり、また宿題も三者ともに90%以上はすばらしいこと。教員の指導が行き届いていることがよくわかった。
- ・子どもの学習については見てないので評価できない。ただ、読書の少ないのが残念。小さい時は特に読書が大切であると思う。
- ・子どもと親と読書量の差が大きいが学校で読書していることを把握できているか。少なくとも自分が子どもの頃の時より子どもたちの読書意欲をかきたてる努力をしてくれていると思う。
- ・教職員が授業改善に努めている様子が100%に表れている。児童も理解することで勉強が楽しくなると思う。読書に関しては保護者の方から見ると家ではあまり読書をしていないのかも知れないがその分家族間で会話などコミュニケーションをとる時間の方が多いのであれば、それはそれですてきだと思う一方で、親子で同じ本を読んで感想を言い合ったりする時間をとることでお互いの想いを知ることができるのかもしれないと思ったりもした。また、学校図書や図書館等で本に触れ、親しんでいく機会が増えることも願っている。
- ・一度、授業参観をしたが授業内容も分かりやすく、児童への対応も丁寧であった。アンケートから家庭での読書意欲や環境が整っていないと感じられた。
- ・保護者が積極的に本を読む姿を見せることが大切である。
- ・活字離れが叫ばれて久しいが読書が豊かな人間性を育むこと。読み聞かせも善悪、習わし、思いやりなど隠された部分を感じ取ってほしいと取り組んでいる。
- ・「家庭での読書の時間を増やすよう保護者への啓発活動を強化する」を追加してはどうか。
- ・読書については、すべての学習のベースになると思うので、保護者も含めて割合の底上げに力を入れてほしい。
- ・読書で児童と保護者が70%以上となっており平均的な評価だと思う。これからも根気強く指導をお願いする。

## 子どもの生活について

アンケートの「よくあてはまる」「大体あてはまる」の肯定的な回答の割合を%で示している。



### 【結果・考察】

- 児童の約9割は学校生活は楽しいと感じている。また、保護者も同じ割合で肯定的な回答をしており、安心して学校に送り出せていることが考えられる。
- うれしいとき、困っているときに教職員がきちんと話を聞いてくれる、と感じている児童が多い。教職員との信頼関係も築けている。
- 教職員においては、児童が学校生活を楽しく、友達と仲良く過ごしていると全員が回答している。今後も児童の成長につながる活動を推進していく。
- 「4つの約束」について、児童と保護者、教職員の割合に大きな差があった。きちんと守れている児童も多い。その児童に対してはできていないことをしっかり褒めていく。「なぜ聴くのか」「なぜ時間を守るのか」「なぜ整理整頓するのか」「なぜだまって掃除するのか」具体例を挙げながらの指導を積み重ねる。

A…順調 **B…おおむね順調** C…あまり順調ではない D…順調ではない

### 【「子どもの生活」についての学校運営協議会の方のご意見】

- ・楽しく学校生活を送っている様子が安心した。
- ・楽しく仲良く活動でき、先生はよく話を聞いてくれる。児童の大切な居場所になっている、ことが感じられる。4つの約束は当たり前の、でも大切で難しいこと、これからも粘り強い指導をお願いしたい。
- ・約束事等について指導側は「もっと、もっと」となると思う。指導される側はちゃんとやっている気持ちになりやすい。子どもたちの様子を見て、自分たちの頃より約束は守れているように思うが、自分の意志で動いているかは疑問である。
- ・学校生活を楽しく過ごしている様子が伝わってきた。4つの約束はなぜ守らなくてはいけないのかを子どもたちと一緒に考えていこうとしている先生方の姿勢がグラフに表れている。約束を守ることは対人関係においても仕事においても社会生活の基本となると思うので学校生活での指導をお願いしたい。
- ・「4つの約束」はとても大切なので、今後も繰り返し指導して、身に付くようになればと思う。
- ・「4つの約束を守る」について各々20%位の差があることが気になる。
- ・「4つの約束」について子どもたち自身に「なぜ」守らなければいけないのか考えさせる。押しつけは効果なし。
- ・学校は楽しい、先生は話をよく聞いてくれる、は有難い。「4つの約束」の重要性はまず保護者が理解、納得すること。学校が頑張って「しつけ」をしていることを強く伝えてほしい。
- ・登下校時に挨拶をきちんとできる子ばかりで非常に感じが良い。
- ・学校が楽しく、友達と仲良く過ごしているのは理想であり、いじめなど今後もない垣生小学校に尽力してほしい。職員も休憩時間も児童と行動し大変だと思うが、児童目線で行動することで信頼感ができすばらしい学級となると信じている。
- ・掃除の時間も楽しい会話の時間であるが節度ある行動がとれる人に育ててほしい。

## 学校の取組について

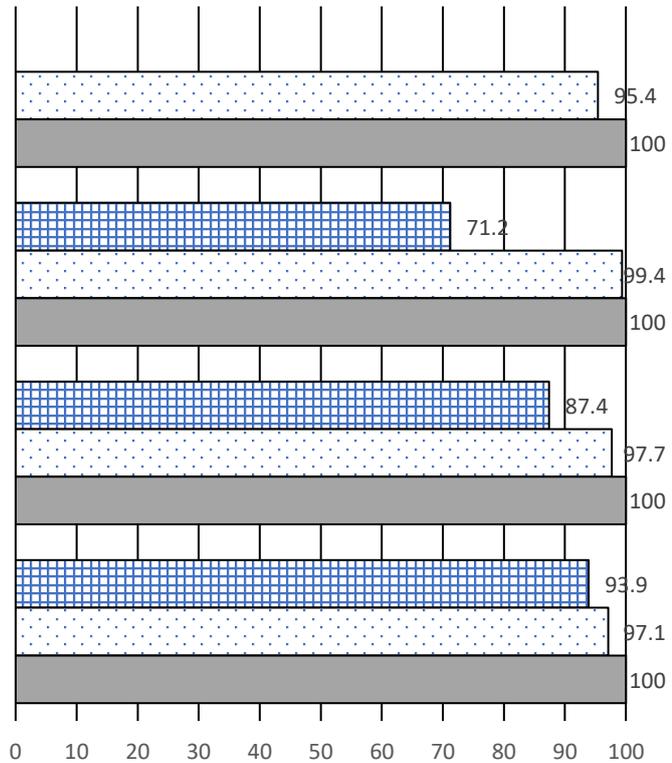
アンケートの「よくあてはまる」「大体あてはまる」の肯定的な回答の割合を%で示している。

学校は、いじめや不登校等の問題について、早期解決に努めている。

エコ回収やコミュニティ・スクール行事活動を進んで行っている。

学校で体力づくりを進んで行っている。

学校で、タブレットを使って、進んで学習をしている。



■ 児童 □ 保護者 ■ 教職員

### 【結果・考察】

- 児童との会話、行動の観察、絆アンケートを通して、教職員が常に児童理解に努めている。生徒指導上問題が起った場合は、学年主任や生徒指導主事への相談、連絡を行い、組織で解決しようとしている結果が割合に表れた。その日あった出来事その日のうちに教職員から保護者に説明できている。今後も継続していく。
- 各学年、各教科の学習内容により、タブレット端末の使い方は様々であるが文房具の一つとしての活用が定着しつつある。
- 教職員が体育科の授業だけでなく、休み時間においても楽しく体を動かせるような活動内容を計画し、実践している。全校での「逃走中」も楽しく活動できた。
- コミュニティ・スクール行事においては地域の方のご協力で、子どもたちに貴重な実体験を積ませることができている。学年間の系統性も考慮し、児童同士、活動内容を伝える機会があるとよい。

A…順調 B…おおむね順調 C…あまり順調ではない D…順調ではない

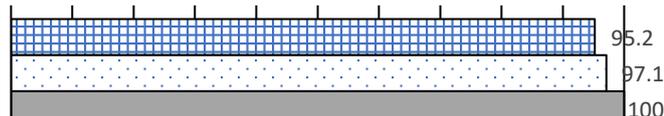
### 【「学校の取組」についての学校運営協議会の方のご意見】

- ・子ども・保護者共に安心している様子で大変喜ばしい。
- ・垣生小のすばらしいCSの取組、児童の自主性や縦のつながりなど、さらなる発展を期待したい。
- ・コミュニティ・スクール（特に農業体験）活動に生き生きと取り組んでいる。最大限の協力をしていきたい。
- ・ほぼ毎年おなじような結果となっているが、何がどのように低評価となっているか対応したい。コミュニティスクール行事がつまらないと思っているのか？エコ回収で学校までの持参で面倒で嫌なのかの調査を分けて対応できないか。児童の低評価の原因を知り対応したい。
- ・絆アンケートは状況調査のように感じるが子どもたちの考えや心持ちなどの先生たちの「気付き」の機会にしてほしい。決して対応することが大切ではないと思う。
- ・児童の心に寄り添い、先生方がアンテナを張り巡らせて職員間で共有し合い、子どもたち一人一人を大切に思う気持ちで取り組んでいることが子どもたちにとって心の根っことなり、子ども自身の豊かな自力の力として伸びていくことだろう。
- ・毎月、様々な行事に取り組んでいると思う。全校で「逃走中」として遊んだ報告を見て、ユニークな取組に子どもが主体的に楽しく活動できていると感じた。
- ・学校は楽しい、と実感できる取組がなされていることはすばらしい。
- ・教職員の大変さがよく理解できる。
- ・取組状況を保護者が理解できている（ギャップが少ない）ことが良いと思う。

## 家庭・地域との連携について

アンケートの「よくあてはまる」「大体あてはまる」の肯定的な回答の割合を%で示している。

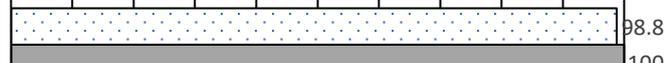
コミュニティ・スクール行事では、地域の人にきちんとあいさつをしている。



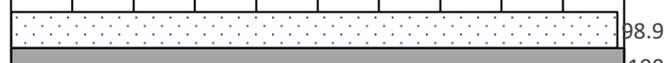
家では、学校であったことをよく話す。



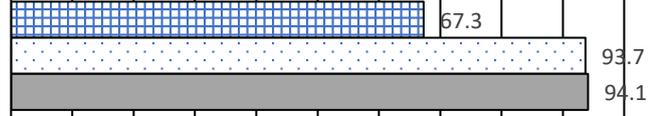
学校は便りやホームページなどで、積極的に情報公開している。



学校は、保護者からの相談に適切に対応している。



地域の行事に参加している。



■ 児童 □ 保護者 ■ 教職員

### 【結果・考察】

○コミュニティ・スクール行事では、学校・家庭・地域が連携し、地域の宝である垣生っ子を育てる環境が整っている。

○今後も授業や行事等の様子を学校だよりやホームページ等で発信していく。

●児童の約15%は学校であったことを家庭であまり話さない、という結果が出た。一方で、保護者は相談に対して学校が適切に対応している、と感じている。今後も児童の学校の様子を教職員が把握し、日頃から電話や家庭訪問等で情報共有をしていく。

●地域やPTAの行事について、具体的に何が行われているか、ホームページ等で積極的に発信していく必要がある。

A…順調 **B…おおむね順調** C…あまり順調ではない D…順調ではない

### 【「家庭・地域との連携」についての学校運営協議会の方のご意見】

- ・家庭・地域との連携については、特に他校と比べても良好と思われる。
- ・地域の行事（コミュニティ・スクールも）について子どもの数値が低いのが、これは大人になってから気付くことだと思うのであまり気にしなくていいと思う。
- ・家庭・地域との連携がしっかりとできていると思う。学校の情報を積極的に発信して共有していくことは、とても大切だと思う。
- ・地域行事にどんどん参加してほしい。
- ・垣生は地域力がすごい。各団体はもとよりシルバーボランティアの方々が積極的に関与し、成果をあげている。
- ・垣生山整備や運動会等、児童、PTAは積極的に参加しているように見える。
- ・保護者は相談に対して学校が適切に対応していることは大切であり、すばらしいと思う。
- ・子どもをまんなかにしてみなさんと手を取り合い気持ちをつなげて、子どもたちの成長を見守り応援していきたいと思っている。児童の約15%は学校であったことを家庭であまり話さないというアンケート結果に数十年前、「あのね」となんでも話してくれていた娘に対して、高学年になってくると「べつに」で済まそうとしていた息子を思い出した。今、当時を振り返ると話さない心の声が聞こえなかったのかも、と親としての反省もある。先生方は保護者の方々に全力で向き合われていることが100%に表れていてすばらしいと思う。
- ・保護者の理解が得られていることが良い。
- ・PTA世代の自治会加入率はどうか。
- ・地域、学校行事よりも「個」の活動を優先している家庭が増えてきている気がする。
- ・PTA事業も大変だが各役員の方々の努力で地域と一体となって頑張っていただき感謝している。ただ、児童同伴の人数が次第に減少しているように感じる。親子での参加をもっと増やしていきたいと思う。
- ・垣生小児童の挨拶は立派にできていると思う。